



志呂神社御供



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	しろじんじゃごくう
所在地	岡山市北区建部町下神目
指定年月日	昭和32年5月13日
解説	志呂神社の秋祭りに久米南町京尾地区の氏子から供献される神饌行事で「京尾御供」(きょうのおごくう)とも呼ばれる。米の粉で作る男女の陰陽を模した「フト」「マガリ」と、貨幣をかたどった餅で作る「丁銀」の三種の神饌を奉納する。御供の製法と形態は今も厳重に守られ、京尾から唐櫃(からびつ)に入れて運ばれる。同時に神輿の御神幸や棒遣い、神樂が祭りを盛り上げる。
アクセス方法	JR福渡駅から車で5分
公開状況	開催日: 10月20日(午前10時～)
設備	【P】普通車100台  駐車場  トイレ
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	志呂神社御供
よみかた	しろじんじゃごくう
しょざいち (所在地)	岡山市北区建部町下神目
していしたひ (指定した日)	昭和32年5月13日
せつめい	神さまをおまつりする行事(ぎょうじ)で、「京尾御供(きょうのおごくう)」ともいわれています。豊作(ほうさく)や繁盛(はんえい)を祈(いの)って、「フト」「マガリ」とよばれるダンゴと、「丁銀(ちょうぎん)」とよばれる餅(もち)を神さまにお供(そな)えします。むかしながらのしきたりがよく守られています。そして、おみこしや神楽(かぐら)が祭(まつ)りを盛(も)り上げます。